

# 中 中央中だより

令和5年3月11日 第19号  
校長 中村 洋一郎  
中央中さわやか相談室 3階  
相談室 ☎ 2959-9591

3Work (Team・Net・Foot)を大切に中央中の子供たちのために

## 東日本大震災から12年…～復興は道半ば～

今年も3月11日がやってきました。東日本大震災が起こった日です。今年で12年もの月日が流れたのです。今でも当時の記憶は鮮明に残っています。我々大人は、東日本大震災の教訓を子ども達に伝えなければいけないと思っています。私は震災後、ボランティアとして複数回現地を訪れました。いつも最後に大川小学校を訪れ線香と花を手向けました。大川小学校は北上川河口から4kmの川沿いに位置します。全校児童108人の7割に当たる74人が死亡・行方不明となりました。県が策定した津波浸水域予測地図では大川小学校には津波が到達しないとされ、大川小自体が避難先になっていました。想定外の大津波は避難する子供たちと教諭を飲み込みました…最愛の我が子を亡くした保護者からは「学校は何故子供の命を守れなかったのか」と学校側の対応を巡る訴訟も起きました。当時の状況下で自分だったらどうしたか、どんな判断ができたのか自問自答しています。

### 《釜石の奇跡》

岩手県釜石市では、市内の小中学生ほぼ全員が津波の難を逃れました。生存率は99.8%でした。地震発生直後、釜石東中学校の生徒たちは直ちに学校を飛び出し、高台をめがけて走り出しました。それを見て近隣の小学校の児童や先生たちも後に続き、さらには多くの住民もそれに倣いました。中学生たちは年下の児童たちを助けながら走り続け、安全な場所に一緒にたどり着きました。生徒たちが迅速な対応をすることができたのは、釜石市内の学校が群馬大学の片田教授の指導の下、数年間取組んできた防災教育プログラムの成果によるところが大きかったのです。片田教授は「避難の三原則」を作成。第1は、想定にとらわれないこと。第2は、最善を尽くすこと。第3は、率先避難者になること。この避難の三原則はいかなる災害時にも応用がきくそうです。また、自分の命を救える子供になる教育を続けることも重要だと言っています。

安心・安全を保障できる学校—東日本大震災の教訓を教職員と共に、子供たちの命を最優先に考える機会にしたいと思います。

### 【東日本大震災～復興は道半ば～】

《発生日時》2011年3月11日 午後2時46分

最大震度7（宮城県栗原市）



マグニチュード9.0（過去最大級）

地域によっては10m超の津波が襲来した

《死者・行方不明者・震災関連死》

	死者	不明者	関連死
岩手	4675	1110	470
宮城	9544	1213	930
福島	1614	196	2335
全国計	1万5900人	2,523人	3,789人

\*死者・不明者は22年2月末現在（警察庁）

\*震災関連死とは、避難中の持病の悪化や自殺など

《住宅被害》全壊12万2006棟

半壊28万3160棟

《避難者数》約3万1438人（22年11月1日現在）

\*約34万6000人（ピーク時）

\*最多は福島県の2万7784人で、このうち  
県外避難が大半を占めている。



覚えておこう、避難の妨げになる！

《正常性バイアス》と《同調性バイアス》

《正常性バイアス》は、異常なことが起こった時に「これくらいなら大丈夫」と落ち着こうとする心の安定機能のようなもの。日常生活では、不安や心配を減らす役割がある。しかし、緊急事態では逃げ遅れ等、危険に巻き込まれる原因になります。

《同調性バイアス》は、「皆と一緒にだから大丈夫」と集団の中にいると他人と同じ行動をとってしまう心理で、日常生活では協調性に繋がります。しかし、災害時には周囲の人の様子をうかがっているうちに避難が遅れる原因にもなります。その反対に周囲に率先して避難する人がいれば、より多くの人を避難に導くことも可能です。

### 3年生を送る会大成功でした！

《3年生を送る会》が3月7日（火）5・6校時に開催されました。令和元年は、突然の臨時休校により開催中止。令和2年は、緊急事態宣言が延長され、体育館で3年生のみ視聴。1・2年生は教室で授業をしました。令和3年は、まん延防止等重点措置のため、3年生のみ体育館でしたが、1・2年生は教室でオンライン視聴をしました。令和4年、今年も感染状況が悪化したときに備えて、出し物は全てビデオ撮りしておきました。そして、感染状況も落ち着きを見せていることから、4年ぶりに体育館で全学年揃っての《3年生を送る会》を開催することができました。前日準備では、3年生一人一人に手作りの招待状を配布し、廊下の壁や窓には《光》をテーマにした装飾をこれでもかというほど施し、見る者の目を引きました。当日は、1・2年生共に創意工夫を凝らした映像作品を仕上げてくださいました。そのクオリティの高さに驚かされました。また、体育館は大きな笑い涙の渦に包まれました。今年は、マスク着用ですが、1・2年生からの感謝の歌声も聞くことができました。1年生は「COSMOS」、2年生は「正解（RADWIMPS）」いずれも素晴らしい歌声を披露してくださいました。久しぶりに聞く中学生の歌声に涙がこぼれました。わかたけ学級は、トーンチャイムで大きな古時計を演奏し、お揃いの衣装で「キツネダンス」と「千本桜」を踊る映像を披露してくださいました。これまたジーンとききました。この後、部活動ごとの発表、入学式からの出来事をまとめた《思い出アルバム》と続き、フィナーレは巨大なくす玉を3年生の代表に割ってもらいました。3年生からも、お礼の合唱「笑顔（いきものがかり）」を披露しました。

1・2年生は「お世話になった3年生のために」という気持ちで一糸懸念に準備を重ねてくださいました。3学期は送る会の準備にすべて費やしたと言っても過言ではありません。《誰かのために頑張ることは、自分自身の成長につながる》- 3年生のために頑張ることを通して、1年生は2年生の顔に、2年生は3年生の顔になります。今日の《3年生を送る会》をやり切った1・2年生の顔を見て、来年も中央中は素晴らしい学校になると確信しました。中央中生の皆さん、感動をありがとうございました。



【心のこもった招待状】



【3年生廊下の装飾の一例】



【3送会実行委員会メンバー】

#### 《中央中生の活躍》

##### ◇令和4年度 狭山市小中学生スポーツ・文化教育長表彰

- 選抜基準：① 県レベルの大会（展覧会）等において4位以内の成績を収めた個人または団体  
 ② 関東レベル以上の大会（展覧会）等に出場した個人または団体  
 ③ その他、①②と同等レベル以上の成績を収めた個人または団体

##### 《スポーツ表彰》

- 〇〇〇 〇〇さん（2年）自転車競技
- 〇〇〇 〇〇さん（2年）野球
- 〇〇〇 〇〇さん（2年）野球
- 〇〇 〇〇さん（2年）野球
- 〇 〇〇さん（2年）野球
- 〇〇 〇〇さん（2年）野球
- 〇〇〇 〇〇さん（1年）空手

- 〇〇〇 〇〇さん（1年）陸上競技
- 〇〇〇 〇〇さん（1年）フィギュアスケート
- 〇〇〇 〇〇〇さん（1年）サッカー

##### 《文化表彰》

- 〇〇〇 〇〇さん（3年）硬筆中央展覧会
- 〇〇〇 〇〇さん（3年）硬筆中央展覧会

